

# 模擬市長選 主張争う



18歳以上の選挙権施行を前に模擬投票をする生徒たち。瑞穂区汐路町の名古屋女子大高で。

## 名女大高 実物使い投票も

選挙権が十八歳以上に引き下げられたことを受け、瑞穂区汐路町の名古屋女子大高で十二日、模擬投票「みずほ市長選」があった。一貫教育課程五、六年生（高校二、三年に相当）の百三十七人が参加。五年の生徒六人が二人一組で候補者三人の役を演じ、架空の「みずほ市」で空き地の活用策を争点として主張を争った。

投票の結果、鈴木玲奈さん、永縄瑠衣さんが候補者が当選。二人は子どもから高齢者まで楽しめる「ショッピングモール計画」を掲げ、「みずほ市は過疎化が進み、高齢者が増えている。ショッピングモールを建設すれば、多くの人がこの地域に足を運び、活性化する」と訴えた。

来年五月に十八歳になる永縄さんは「候補者の訴えを表面上ではなく、奥深くまで見極めて投票したい」と話

六人は自ら訴えを考えて選挙公報を作成、立会演説もした。参加者は演説を聞いた後、区選管が用意した実物